



田内さん生誕100年

「世界孤児の日」制定を

韓国での
記念行事

木浦で決議し閉幕

【木浦＝藤枝武志本社会記者】韓国で行われていた故・田内千鶴子さん＝高知市出身＝生誕100周年記念行事は31日、国連に「ワールド・オーファンズ・デー(世界孤児の日)」制定を求め請願することを決議。3日間の日程を終え、閉幕した。

(1面参照)

決議は記念行事の目玉。田内さんの長男、基さん(70)＝大阪府堺市＝が「孤児のいない社会を」との田内さんの願いを実現しようと、日韓両国で賛同者を募っていた。

決議文は前文で「家

国連に「ワールド・オーファンズ・デー」の制定を求め、決議文を読み上げる日韓の代表ら

(木浦市の市民文化体育センター)

なければならぬ」「養育の施設は、一般家庭と区別や差別してはならない」など、孤児を支える八つの理念もつた。

木浦市の市民文化体育センターで開かれた決議大会には、約1600人が参加。日韓の代表約50人と木浦の子どもたちが登壇し、決議文を読み上げると、会場は大きな拍手に包まれた。

基さんは「子どもを愛することは人類を愛すること。それが福祉社会をリードする原動力になる」と、制定へさらなる協力を呼び掛けた。

県訪問団は大会前に木浦共生園で園児らと交流。文房具などを贈った。よさこいチーム「花神楽」は大会ラストで鳴子踊りを披露した。